



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年12月3日
文責：校長 江上 知男



保健委員会の発表

薬物乱用防止教室を開催！

12月1日(水)に、5・6年生を対象に「薬物乱用防止教室」を開催しました。講師に、本校学校薬剤師の井島由裕先生に来ていただき、保健委員会の子どもたちが教室を運営しました。

まず、保健委員会から「事前アンケートの結果」が発表されました。子どもたちは「薬物の名前等はテレビを通して結構知っていること」や「酒やたばこに関心を持っていること」などが分かりました。

続いて、井島先生のお話で、「医療用薬物と快楽目的の薬物では使い方に違いがあること」「1度でも本来の目的ではない使い方をしたら『乱用』であること」「たばこは身体に害があるだけでなく、他の薬物を乱用するきっかけになること」などをわかりやすく教えていただきました。そして、「誘われたときに絶対に断ることが大切なので、断り方を身に付けよう」という結びでした。

子どもたちからは、「薬物なんて関係ないと思ってたけど、身近にあるとても怖いものを知った」「たばこは吸いたくないし、薬はお医者さんが決めたものを飲みたい」「甘い誘いに決して流されず『No!』ははっきり言える人になりたい」という感想がありました。本当に真剣に参加していました。子どもたちの感想を読んで、「子どもたちは私たち大人の行動をよく見ている、すごく影響を受けていること」が分かりました(お父さんやお母さんの身体を心配している文が多数ありました!)

二十数年前(私が最初に勤務していた頃)、小坂小学校は「深夜のシンナー使用の溜まり場」となり、地域の方々が「深夜のパトロール」をされたことがありました。薬物は、私たちの身近にあります。学校・家庭・地域が連携して、子どもたちが将来絶対に薬物に手を出さないよう、「薬物はダメ!」という考え方や情報を共有していきましょう。

「なわとび旬間」に入りました!

12月17日まで、なわとびに取り組んでいます。体育の時間でも取り組みますが、始業前や休み時間にも、なわとびをする子どもたちの姿で大賑わいです。

なわとびは、とても素晴らしい運動です。

- ①用具の値段が安い
- ②扱い方が簡単で安全
- ③非常にたくさんの技術がある
- ④自分で創作できる
- ⑤年齢・体力などに応じて運動の強弱を変えられる
- ⑥自分のペースでできる
- ⑦1人から多人数まで楽しめる
- ⑧音楽などに合わせ「表現運動」になる



始業前の様子

要するに、子どもだけでなく、大人も楽しめる運動だと思います。実は、ジョギングに匹敵するくらいの運動量があります。心肺機能を高める効果も高いです。ご家庭でも、親子で取り組んでみてはいかがでしょうか。

コロナにおける熊本県のリスクレベルは「1・注意」ですが…

県内の感染状況は、昨日(12/2)で18日連続「感染者なし」となりました。ワクチンの効果もあるでしょうし、みんなで行った「感染防止対策」の効果もあるでしょう。学校としても、来週に迫った「学習発表会を開催できること」に大きな喜びを感じます(来週早々に詳細の通知を出します)。

しかしながら…、「オミクロン株」という新たな脅威も迫っているようです(涙)。学校としては、引き続きこれまで行ってきた感染防止対策を継続していきます。先日、「新しい生活様式(12月)」を配付してあります。どうか、ご家庭でも感染対策に協力いただきますようお願いいたします。